



ひだか病院

タッチ

TOUCH



となりにある自然

コサメビタキ

撮影場所：海南市 原野

撮影者：森下正彦

も く じ

病院長新年の挨拶	(2)
事務長新年の挨拶	(3)
院内研究発表会	(4)
御坊医療圏災害医療訓練	(5) (6)
能登半島地震	(6)
New face! (3名)	(7)
表彰・認定・研修修了者等	(7)
時系列	(7)
外来医師担当表	(8)

No.56

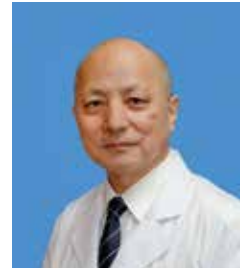
2024年1月



新年のご挨拶

ひだか病院

病院長 尾崎 文教



先ずは、元日に発生した「令和 6 年能登半島地震」にて、被災された皆様に謹んでお見舞いを申し上げます。また、東南海地震のリスクが日増しに高まる当地に於いても、あらためて地震に対する備えの重要性を痛感しました。

昨年 5 月に新型コロナ感染が 2 類相当から季節性インフルエンザと同じ 5 類に変更されました。世間では特段の感染対策は要求されず、街中でマスク非着用の人々を多く見かけるようになりました。国内の各種イベントは盛況を取り戻し、日本シリーズではノーマスクで応援する大勢の野球ファンの姿をテレビ画面越しに見かけました。鬱蒼としたコロナの時代は遠い昔に過ぎ去った事のような錯覚すら覚えます。

一方、病院に於いてはコロナ感染から入院患者を守る責務があるため、感染対策を急激に緩和するわけにいかず現在も慎重な対応が求められます。当院では 2 類相当に対応した厳重な感染対策から、大病院の例を参考にしながらおそるおそる緩和しているのが実情です。2020 年にコロナ感染が始まった際、その対策に困難を覚えました。徐々に緩和することも同様に苦心します。改めて物事の終わらせ方、出口戦略が如何に難しいかを体感した一年でした。ただ、今後もコロナ感染は続きますが、インフルエンザと同じ対応になるのはそう遠くはないのではと予想します。早ければ今年中にはそのようになって頂きたいものです。

さて、5 類になっても年末の恒例行事である忘年会は意外と流行らなくなってきたようです。さる調査では多くの企業で忘年会は不人気となっています。理由は、感染予防というより、人間関係の煩わしさが根底にあるようです。忘年会にかぎらず、コロナ前に比べて冠婚葬祭は随分と簡素化された印象です。コロナ禍が社会の様式を一変させたという見方もありますが、おそらくはそれ以前から緩徐に進行していた社会の変革がコロナ禍により加速されたものと思います。昭和の集団主義と同調圧力から社会は徐々に解放され、平成から令和にかけ多様性と個人主義が広く認知されるようになりました。その結果、形骸化した慣習はコロナ騒動がなくとも遠からず縮小する運命にあったように思います。

一方、少子高齢化のため生産年齢人口の減少が止まらない今の日本では、社会の DX 化は待ったなしです。コロナ禍で DX 化は若干進歩した印象ですが、今後も医療分野でも大いに進めていただきたいと思います。

末筆になりましたが、皆様に於かれましては干支の龍の如く、本年は飛躍の年となることを祈念いたします。





新年のご挨拶に代えて

ひだか病院

事務長 松根博司

まずは、此の度の能登を震源とする「令和 6 年能登半島地震」にて、被害に合われた皆様に、謹んでお見舞いを申し上げます。

令和 6 年は大変な幕開けとなりました。

1995 年の阪神淡路大震災が平成からの災害の始まりと個人的には思っています。もうこれで終わりだろう・終わってほしいとの願いに反して次から次へと大きな災害が起こっています。言い古された言葉ですが、災害は忘れた頃によくやってくると言われますが、大きな災害がこうも立て続けに起こると、いつ自分の身に降りかかってもおかしくない状況だと思っています。改めて、常日頃の心構えがいかに大切かを思い知らされました。

また、災害とは別に日本国を取り巻く国際情勢も顕著に激変しています。

今年は台湾総統選・ロシア大統領選挙・アメリカ大統領選挙の大きな選挙が控えており、この結果が日本国に与える影響は否応なしに大きく、大変重要であると個人的には認識しています。大げさに言えば、今こそ日本国の将来の舵取りや方向性が、我々国民一人一人に突き付けられているのではないかと心底思う、お正月でした。

さて、病院内部に目を向けると、昨年はコロナ感染症が 2 類から 5 類への変更になったことにより、院内の感染対策や空床確保料などが見直されました。

院内感染対策については、やはり感染力が強いため基本的な対策については変わっていませんが、(コロナ感染症の) 空床確保料については、9 月末日まで従来の病床数 (56 床) を確保していましたが、5 月 8 日以降、空床確保の病床単価が半額程となり補助金が大幅な減額となりました。また、10 月からは、県内の感染状況に応じた段階的病床確保料の支給となり、県内のコロナ入院患者数が減少した現在は、ほぼ支給がない状況が続いています。

令和 2 年度から 3 年間は、病院長の英断と指揮の下、コロナ感染症への対応を職員一丸で積極的に担った結果、病院事業収益が黒字となりました。しかし、令和 5 年度においては赤字が避けられない状況となっています。コロナ感染症が 2 類から 5 類となり当然のことながら次の策を練って行かなければとの思いが職員一人一人にもあると思います。病院事業収益の赤字・黒字はさておいて、公立病院は公立病院としての使命である公共の福祉を増進するように運営されなければならないとなっています。言い換えれば、ひだか病院は地域住民中心の病院でなければならないとの病院であると。そうであるなら救急患者や他院からの患者受け入れなど地道な医療を続けることが信頼され・親しまれる病院のあるべき姿であり、その積み重ねが必然的により頼りにされる病院である近道であると思います。

どうかこの思いを職員の皆様に今一度考えて頂きたく提言してみました。

我々の職場である“ひだか病院”の命運を握るのは、職員一人一人の頑張りや患者さんへの寄り添う思いが大切であり、その積み重ねが病院を活性化させる・地域住民に評価される・より利用者が増え収入や利益が増えるという仕組みであると思っています。どうかこの一年、この気持ちを大切に、業務に就いていただければと強く願っています。

本年は辰（龍）年です。

今年も、病院長を先頭に職員皆が「天翔ける龍のように」また「変化を恐れずに」この地域の中核病院としての責務を果たせる年にしていきましょう。

今年もよろしくお願い致します。



第11回院内研究発表会を終えて

リハビリテーションセンター 塩田 貴也

令和5年11月17日に、11回目の院内発表会が開催されました。

尾崎院長の挨拶でも「10年前に比べ、レベルアップしているし、内容も素晴らしい。自分の言いたいことを、自分の言葉で伝えることができている。」と仰っていましたが、本当にその通りで、口頭発表はもちろん、ポスター発表も口頭発表しないと勿体ないくらいに内容が多岐に渡りよく考察されていました。

コロナ禍で学会発表する機会が少なくなった分、看護部やコメディカルから発表対象の演題を集めるのに苦慮しましたが、部署によっては院外未発表演題を大勢の前で発表された方もいて良い経験になったと思います。

今回、看護部幹事の川瀬看護師を中心とした運営を行い、事後アンケートでも前回より良くなったとの感想が多く、11回目を無事終えることができました。企画員の皆様お疲れ様でした。ありがとうございました。



令和5年度 御坊医療圏災害医療訓練を終えて

情報企画課長（防災担当）

日本 DMAT 隊員 藤本 順智

10月21日（土）、コロナの感染拡大により長らく中止となっていました御坊保健医療圏健康危機管理協議会主催の災害医療訓練が、少し規模を縮小して4年ぶりに実施され、圏域の訓練としては今回で16回目の開催となりました。

今年度の訓練においても企画段階から関わらせていただき、保健所の方々と被災想定から考え、患者想定や通信機器の設定など具体的な内容も作り込んでいきました。

まずは被災想定ですが、津波被害がない想定で実施したいとの意向があり、例年実施していた南海トラフ地震ではなく、中央構造線断層帯を起震断層とする内陸直下型地震で実施することになりました。

次に、訓練の内容は御坊医療圏保健医療調整本部、院内災害対策本部、DMAT 支援指揮所の設置・運用や災害拠点病院としての受け入れ体制（サージキャパシティの拡充）、通信の確立、医療材料や燃料・水などの物資支援調整、支援に来た医療チームとの共同などです。

今回も圏域外から和歌山県立医科大学附属病院、和歌山労災病院、新宮市立医療センターの DMAT（災害派遣医療チーム）と日本赤十字社和歌山医療センターの救護班の協力が得られ、訓練に参加していただきました。また、圏域内からも JRAT（日本災害リハビリテーション支援協会）が初参加しました。

さて、訓練の方ですが、13時30分の発災から15時30分までの2時間という短時間で、通常半日から1日かけて行うような内容を凝縮して実施したので、1つ1つのイベントがタイトな時間軸で進行したことにより非常に慌ただしく経過したと思います。特に本部活動においては発災後の初動というのは非常に重要な時間帯であるので、今回の訓練で実施した経験を活かしてもらいたいと思います。

一方、今回机上訓練となったトリアージ部門ですが、全ての患者を投入することができず、キャパシティオーバーでの訓練終了となりました。要因としては、災害対策本部との連絡、情報伝達が上手くいかず、情報が錯綜し速やかな入院受け入れや搬送調整ができませんでした。そのことにより、患者が滞ったことでの人員不足、なにより災害拠点病院としての受け入れ体制（サージキャパシティの拡充）ができませんでした。このことは、プレイヤーだけでなく、コントローラー（当院 DMAT）側の機転をきかせた対応ができなかったことも一因であり今後の課題です。

次回の訓練では、役割分担も通常とは異なる配置も視野に入れるなど、受援体制、病院の機能維持に繋がるようなものにしていき、より実戦に即した内容で取り組んでいきたいと考えています。

外部評価者として、和歌山労災病院の岩崎安博先生にお越しいただき、訓練終了後には過大な評価をいただきました。しかしながら、課題や改善点も多いので慢心することなく、次回の訓練に向けて、1人1人が災害拠点病院の職員であるという自覚を持った対応をしていけるようにしたいと思います。

最後になりましたが、今回の訓練実施では多機関の方々のご協力を得て、無事に終わることができました。本当にありがとうございました。今後ともよろしく願い申し上げます。



令和6年能登半島地震に係る災害派遣医療チーム（DMAT）の派遣について

令和6年能登半島地震の発生を受け、厚生労働省 DMAT 事務局からの要請に基づき、災害派遣医療チーム（DMAT）を下記のとおり現地へ派遣しました。

1) DMAT 隊

派遣人数：5名

（医師：寺杣智志、看護師：岩越たまみ、尾鼻千穂、業務調整員：井原克己、藤本順智）

派遣期間：1月21日から1月26日

（うち活動期間：1月22日から1月26日）

活動場所：金沢以南保健医療福祉調整本部

2) DMAT ロジスティックチーム

派遣人数：1名

（業務調整員：藤本順智）

派遣期間：1月11日から1月17日

（うち活動期間：1月12日から1月16日）

活動場所：珠州市保健医療福祉調整本部

New Face

太田 敬之

第二内科 部長

趣味・特技等：硬式テニス
糖尿病、内分泌（副腎・甲状腺）が専門です。お気軽に御相談ください。

西松 謙一

産婦人科 医員

趣味・特技等：ソフトテニス 野球観戦（阪神タイガース）
日本赤十字社和歌山医療センター産婦人科より異動となりました。1月から3月までと短い期間ですが病院と地域に貢献できるよう頑張ります。

New Face

木下 哲也

耳鼻咽喉科 医員

趣味・特技等：テニス
よろしく申し上げます。

New Face New Face

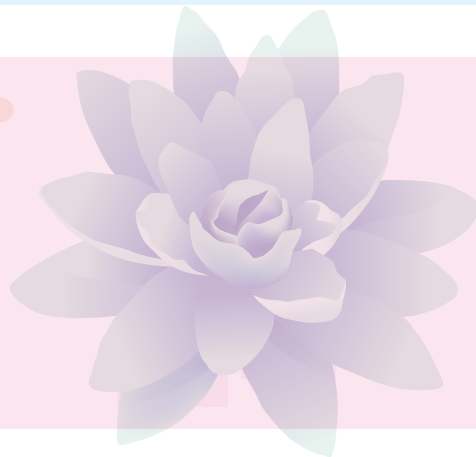
表彰・認定・研修修了者等

おめでとうございます☆

令和6年1月24日

●第52回医療功労賞

尾崎 文教



前回の発刊日以降のイベント等

2023年11月

- 3日（金・祝）和歌山県病院協会学術大会
発表者：看護部（野手真由看護師、藪前千香看護師）
- 3日（金・祝）～4日（土）和歌山県総合防災訓練（DMAT参加）
- 8日（水）精神科病棟消防訓練
- 11日（土）緩和ケア研修会
- 15日（水）日高看護専門学校 入学試験（地域枠・社会人）
- 16日（木）感染症受入訓練
- 17日（金）院内研究発表会
- 23日（木・祝）新宮市立医療センター災害訓練（DMAT参加）
- 28日（火）御坊市外五ヶ町病院経営事務組合開設者会

2023年12月

- 2日（土）～3日（日）和歌山県 DMAT 災害医療ロジスティクス研修（DMAT参加）
- 7日（木）病院立入検査（御坊保健所）
- 10日（日）地域保健・福祉における災害対応標準化トレーニングコース（BHELP）
- 20日（水）精神科病院実地指導・実地審査
- 22日（金）御坊市外五ヶ町病院経営事務組合議会定例会

2024年1月

- 1日（月・祝）令和6年能登半島地震
- 12日（金）～16日（火）石川県珠洲市へ DMAT ロジスティックチーム隊員派遣
- 22日（月）～26日（金）石川県金沢市へひだか病院 DMAT をチーム派遣
- 24日（水）第52回医療功労賞受賞式（尾崎文教 院長）

外来診療担当医師表

令和6年1月1日

			月	火	水	木	金	
Aブロック	整形外科	1診 (予約)		西	西	久保井	担当医 受付は11:00まで	
		2診 (予約)	久保井 受付は11:00まで	宮本	宮本	夏見		
		新患	宮本 受付は11:00まで	久保井	夏見	西		
		リハビリ テーション診	西 受付は11:00まで	夏見	久保井	宮本	担当医 受付は11:00まで	
麻酔科	午前 (指定患者のみ)	羽場	羽場		羽場	羽場		
Bブロック	外科 (消化器)	1診	山口	佐原	佐原	山口	辻	
		2診	辻		辻	佐原		
	小児科	1診	派遣医	五嶋	津野 (当番医)	派遣医	五嶋	
		2診	津野	大星	五嶋	大星	津野 第1・3・5 神経外来 津田 第2・4(予約)	
		午後診 (予約)		予防接種 津野・大星	腎外来(第3週) 派遣医	1カ月検診 五嶋・大星 派遣医(第1週)	心臓外来 第1~3週 派遣医	
	脳神経外科	1診	尾崎	沖田		尾崎	沖田	
		2診	大林	尾崎	派遣医 10:00より	大林		
		午後3診 (予約)					派遣医 月一回	
		5診 (予約)		脳ドック(尾崎)	脳ドック(尾崎)		脳ドック(尾崎)	
	皮膚科		派遣医	派遣医	派遣医	派遣医	派遣医	
形成外科					派遣医 受付は11:00まで			
Cブロック	眼科		井上 受付は11:00まで		井上 受付は11:00まで	井上 第1・3・5 受付は11:00まで	井上 第1・3・5 受付は11:00まで 予約患者のみ 第2・4 受付は10:30まで	
	泌尿器科	1診 (予約)	平山	平山	小倉 第1・3 平山 第1・3	平山 第2・4・5 青枝 第2・4・5	小倉	
		2診	青枝	小倉			青枝	
	午後	予約患者のみ・検査	予約患者のみ・検査	検査・手術日	手術日	予約患者のみ		
Dブロック	内科	第1内科	1診	東克	西川	寺袖	西川	東克
			2診	寺袖	玉置秀	川端	小畑	玉置秀
			新患	川端	高橋	小畑	派遣医 深海	高橋
		第2内科	5診	松野	松野	吉松	松野	太田
			6診		太田	腎外来 大矢 13:00まで		
			7診 (新患)	岡本	小林	小林	岡本	吉松
	第3内科	10診					新谷	
	専門外来	8診	(午前)腎外来 派遣医 山田			(午前)血液専門外来 派遣医 阪口		
		10診		肝臓専門外来 派遣医 玉井 13:00より				
		11診		炎症性腸疾患 派遣医 伊藤		(隔週)難病専門外来 派遣医 松岡		
循環器内科	15診	今西	東岡	今西	今西	山口		
	12診	寺口 第1・3・5 東岡 第2・4	片岩	山口	片岩	寺口		
	8診		寺口 (午前)循内ドック	寺口 (午前)循内ドック		寺口 (午前)循内ドック		
耳鼻咽喉科	1診	山本 受付は11:00まで	山本 受付は11:00まで	派遣医 受付は11:00まで		山本 受付は11:00まで		
	2診	派遣医 受付は11:00まで	木下 受付は11:00まで	木下 受付は11:00まで	派遣医 受付は11:00まで	木下 受付は11:00まで		
産婦人科	1診	曾和	山本	寺本	西森	中田		
	2診	西森	西松	曾和	山本	寺本		
	午後		産科エコー 派遣医	手術日	手術日	産科エコー 派遣医		
精神科	1診	北端	上西 第1・2・4・5 派遣医 紀本 第3	北端	北端	北端		
	2診	藤林	下間 第1・2・4・5 上西 第3	藤林	下間	上西		
	3診				山本			
歯科口腔外科		中谷 原則、初診は紹介状をお持ちの方	手術日	中谷 原則、初診は紹介状をお持ちの方	手術日	中谷 原則、初診は紹介状をお持ちの方		
救急科		派遣医		派遣医	派遣医			
放射線科	読影	竹内	竹内	竹内	竹内	竹内		

《 都合により、変更する場合がございます。 》

